

サービス推進室では、医療安全に関する情報を収集し、看護業務で役立つポイント等を付加して提供しています。点検ツールとしてお役立てください。

No.1

2020 年 12 月 25 日に公開された医療事故情報収集等事業第 63 回報告書では、「温めたタオルによる熱傷に関連した事例」が分析テーマとしてあげられています。

第 63 回報告書によると、2015 年 1 月から 2020 年 9 月に報告された事例を分析したところ、温めたタオルを使用し患者が熱傷をきたした事例が 12 件ありました(清拭を目的とする事例を除く)。タオル使用の目的とタオルが当たって

表 温めたタオルを使用した

能性がある事例も多く報告されている。機会が多いと思います。報告書では、これら事例の感覚障害に関するアセスメントが不足していたこと、温めたタオルの熱さを確認していなかったこと、温罨法開始後に皮膚の状態を観察していなかったことなどが挙げられています。具体的な事例や対策方法なども書かれていますので参考にしてください。

* 直前の患者の状態は複数回答が可能である。

 http://www.med-safe.jp/pdf/report_63.pdf

また、低温熱傷の注意喚起や、効果的な温罨法などの資料が各団体や研究者から発表されています。温罨法を安全に効果的に提供することに活用してください。

◇ 低温やけどについて